



2007 夕張市が財政破綻



2008 リーマンショック



2009 米大統領にオバマ氏就任



2010 日本航空 会社更正法適用申請  
高校の授業料実質無料化



2012 「東京スカイツリー」オープン  
山中伸弥氏「iPS細胞」でノーベル賞受賞



2013 2020年五輪・パラの開催都市が  
東京に決定



2014 「笑っていいとも」放送終了  
消費税5%→8%



2015 マイナンバー法施行



2016 北海道新幹線開業  
米大統領選 トランプ氏当選



2017 藤井四段が公式戦  
29連勝の新記録



2018 “ブラックアウト”  
道内全域が停電



2019 新元号「令和」  
消費税10%スタート



そして、新型コロナウイルスが世界を震撼させた 2020

# 新型コロナウイルスでも繰り返される 偏見や差別

## ～なぜ、HIV/AIDSの教訓に学べないのか～

### 二つの「故郷」に 思いを馳せて

小学校の6年間をケニアのナイロビで過ごしていた時に噂になっていた“slim disease”は私が後に診療や普及啓発で深くかかわるようになったHIV/AIDSでした。釧路では20年近くいろんな高校や一般市民の方々に話をさせていただいていますが、継続しているからこそ感染症を伝える上で工夫すべき点、専門職と若者や一般の方々とのギャップ、等々、いろんなことを学ばせていただいています。

二つの故郷をつないだ師走講演会に参加させていただけたことは感無量でした。実は以前から稲田先生やイルファアの皆様がケニアに積極的に関わっておられるのに岩室はのほほんと日本にいいのだろうかという思いを抱いていました。しかし、今回、稲田先生、宮城島先生、参加者の皆様と交流させていただき、「できる人が、できることを、できる場所で、できるときに」に尽きると思いました。

### 人は経験に学び、 経験していないことは他人ごと

今回、偉そうに「なぜ学べないのか」と問いかけていますが、改めて考えさせられたのが「人は経験に学び、経験していないことは他人ごと」でした。HIV/AIDSの普及啓発で、「予防はノーセックスかコンドーム」と得意になって話していた岩室ですが、よくよく考えて見ると、感染する方はこの正解を守れなかった方々ということになります。その人たちは岩室の外来を受診しま

せんよね。  
岩室が考える正解依存症とは、「自分なりの『正解』を見つけると、その『正解』を疑うことができないだけでなく、その『正解』を他の人にも押し付ける、自分なりの『正解』以外は受け付けられない、考えられない病んだ状態」です。かつての私は正解依存症という病んだ状態でした。では、なぜそこから脱することができたのは、いろんな人に語り掛ける機会を得たり、アフリカでは「啓発ではなく割礼でHIV感染予防」といった対策しか通用しないという現実を経験したりする中で、自分の発信方法について再考するようになったからでした。

HIV/AIDSの教訓に学ばなければならないのは私であり、学んだことを新型コロナウイルス対策でも伝え続ける責務があるのだと、改めて学ばせていただきました。貴重な出会いに感謝です。



特別講師 from YOKOHAMA

いむろ しんや  
**岩室 紳也**  
ヘルスプロモーション  
推進センター代表

